

由利本荘市 議会だより

2016
平成28年
8月1日号
No.45

スポーツの力で
市民の元気と地域の活性化を！
本市は10月に「スポーツ立市宣言」を行います



本荘由利中学校総合体育大会
水泳競技大会
6月19日 本荘プール

6月定例会

地域の民俗芸能を保存・伝承
民俗芸能伝習拠点施設建設工事請負契約を可決

ここが聞きたい
一般質問に5人登壇

開かれた議会を目指し
議会報告会「市民と語る会」開催

由利本荘市 議会だより No.45

2016.08.01



発行/由利本荘市議会
編集/議会報編集特別委員会

〒015-8501 秋田県由利本荘市尾崎17番地
電話/0184-24-6386 FAX/0184-27-1793
ホームページ/ <http://www.city.yuribonjo.akita.jp>

編集/由利本荘市議会



由利中学校 2年
(町内名 森子)
ただ 多田 ころろ さん

復活・由利町音頭

利地域には、由利町音頭という踊りがあります。以前は、盆踊り大会や町民運動会の時に踊っていたそうです。いつの間にかそれは姿を消し、私たち中学生には、見たことも聞いたこともない踊りとなっていました。5月の由利中学校創立50周年記念大運動会では由利町音頭を復活させることができました。地域の方々に教えていただき、由利中生全員が由利町音頭を覚えました。運動会では由利中生と保護者と地域の方々が大きな輪を作って踊り、楽しく過ごしました。

今回の経験から、伝統行事には地域を活性化させる力があることがわかりました。今あるものも、忘れられているものも、地域の伝統を次に繋いでいくことが大事だと思います。



石沢小学校 6年
(町内名 雪車町)
こまつ 小松 亮介 さん

残していきたい 石沢の宝物

ほくは、石沢にある「絆の茂里」が大好きです。昔、戦争があったときに、東京の女学校の1・2年生、合計109人が石沢にそ開してきました。地域の方の家や大蔵寺に泊めてもらったそうです。その時のお礼に、平和になってほしいと願って、女学生さんたちが、109本の桜を「絆の茂里」に植えました。去年、戦後70周年の記念に、女学生さんたちと石沢小学校のみんなと、「平和の集い」を行いました。女学生さんたちは、石沢は自然が豊かで、皆、優しい人ばかりと言っていました。ほくは、女学生さんたちがそうしてくれるのを聞いてとてもうれしかったです。だから、ずっと、石沢の自然と「絆の茂里」を大切に残していきたいです。

まちの声から



大内地域 (町内名 大倉沢)
まさひろ 正木 修一 さん

地域での人材育成を！

「集まれ！番号 右ならえ 直れ 整列休め」消防訓練大会へ出場する団員の練習が始まってきました。市民の生命と財産を守り、時間と場所を選ばない災害に備える。各自仕事を持ちながら精進して行けるのも、地域を強く想っているからこそと想います。私も消防団員として若い皆さんと汗しておりますが、近年若い皆さんの入団が少なく、消防団員の定員割れの地域も多くなっております。市は防災マップの見直し、防災計画等を示しておりますが、人の確保・育成を行っていかないと地域防災も機能しなくなってしまうと思います。市の全域を熟知している議員の皆様が強力な後押しで人材育成をし、災害があっても被害なしの市となるように願っております。

編集後記

「グローバル化の終わりの始まり」英国のEU離脱を論評する象徴的な文言の一つです。
米ソ冷戦がベルリンの壁崩壊で終わりを告げて27年。誰もが平和と安定の世界に向かうと信じていましたが、紆余曲折。グローバル化の功罪の中で、中道は縮み、極論が耳目を引くようになりました。
今後、政治的経済的にどのような影響が出てくるのか注視する事になります。
こつした中、私も自分の足元を確実に掘り続けることが肝要です。
議会報告会もその一環と位置付け、実践しているところです。
(村上 亨)

- 議会報編集特別委員会
- 委員長 伊藤 三
 - 副委員長 今村 三
 - 委員 佐々木 野
 - 委員 村上 野
 - 委員 藤上 野
 - 委員 岩 秀
 - 委員 隆 英
 - 委員 孝 晃
 - 委員 元 亨
 - 委員 夫 雄



6月定例会は、6月3日から6月22日まで、20日間の会期で開かれました。
 市提出案件は、人事案件、条例関係、契約締結、補正予算など38件で、いずれも原案のとおり同意、承認、可決したほか、陳情1件を採択、継続審査中の請願1件を趣旨採択、継続審査中の陳情1件を不採択としました。
 また、委員会発案（意見書提出）1件を原案のとおり可決しました。
 一般質問は、2日間にわたって5人が登壇し、福祉施策、文化及び地域振興施策、市の不祥事に対する対応など、多岐にわたる質問をしました。

民俗芸能伝習拠点施設建設工事 請負契約を可決・着工!



契約金額**3億618万円**

完成予想図

(山科建設(株)・(株)三浦工務店特定建設工事共同企業体と契約)

■ 一般会計補正予算
1億9506万4千円
を追加

総額 **461億2731万3千円**

主なもの

真田丸PR関連事業
案内看板及び企画展の経費
740万円

道路維持事業
(市民要望による道路の改修等)
1億円

保育園民営化事業
社会福祉法人設立のための経費など
538万円

**介護サービス事業
特別会計繰出金**
6939万円

本荘公園連絡橋撤去事業
国道107号をまたぐ本荘公園連絡橋を撤去するもの
3055万円

シーガル改修事業
西目公民館シーガルの屋上防水と外壁の改修
5800万円

羽後本荘駅東西自由通路を市道認定

6月定例会では羽後本荘駅東西自由通路の市道認定議案を可決しました。
 東西自由通路の整備については、都市計画審議会により5月6日に都市計画決定が同意され、5月19日に告示されました。
 今後は、由利高原鉄道を含め、JR東日本と基本設計に係る協定の締結・事業認可と承認を経て、年度末には実施設計の協定を締結し、平成30年度に工事着手に進む予定とされています。

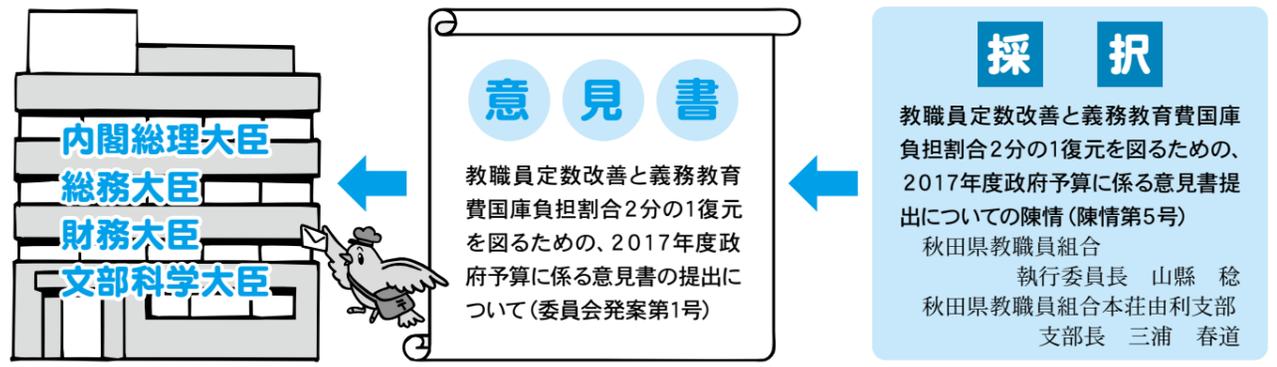


条例関係

- 消費生活センターの組織及び運営等に関する条例
消費者安全法の一部改正に伴い、消費生活センターの組織及び運営等に関し必要な事項を定めるために制するもの。
- 総合支所設置条例・市公告式条例の一部改正
由利総合支所の移転に伴い条例の一部を改正するもの。
- 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
家庭的保育事業の設備及び運営に関する基準が改正されたことに伴い、保育士の配置要件の特例を追加するため、条例の一部を改正するもの。

6月定例会で審議した請願・陳情の結果は次のとおりです

また、委員会発案の「意見書」が原案のとおり可決され、関係機関に送付されています。



人事案件

- 教育委員会委員(任期4年)
Y.O.H.A.R. 桑山 明久氏(再任)
岩城地域 岩城二吉
- 人権擁護委員(任期3年)
小林 祥子氏(新任)
本荘地域 業師堂

不採 択

● 必要な医療・介護が受けられ安心して暮らせる年金制度など社会保障の充実を国に求める意見書提出についての陳情(平成27年陳情第13号)
秋田県社会保障推進協議会
会長 渡辺 淳

趣旨採 択

● TPP交渉に関する意見書提出についての請願(平成27年請願第3号)
紹介議員 今野 英元
紹介議員 佐々木隆一
農民運動秋田県連合会
委員長 鈴木万喜夫

議案の表決結果一覧表

※採決で賛否が分かれた案件を掲載しております。ほかは全て全会一致で可決されました。
 ※鈴木和夫議長は、採決に加わりません。 ※社民党・社会民主党 共産党・日本共産党

議案	市民創風										高志会										表決数		議決結果						
	佐藤 勇	佐藤 譲司	渡部 専一	佐藤 徹	三浦 晃	吉田 朋子	高野 吉孝	大関 嘉一	渡部 功	佐々木慶治	井島市太郎	伊藤 順男	佐藤 賢一	高橋 信雄	渡部 聖一	長沼 久利	土田与七郎	梶原 良平	湊 貴信	高橋 和子	三浦 秀雄	伊藤 岩夫		今野 英元	佐々木隆一	村 上 亨	鈴木 和夫	賛 成	反 対
継続審査中の平成27年陳情第13号	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	—	2	22	不採択

○：賛成 ×：反対 欠：欠席

総務

常任委員会

大内地域全域などの 消防・防災体制を 考慮して

Q. 本庄消防署大内分署の建設予定地はどのように選定したのか。

A. 大内地域全域及び岩谷地区を効率よくカバーし、さらに市全体の消防・防災体制を総合的に考慮して、他の分署との連携がとりやすい場所として、徳沢公民館と大内カントリーエレ



大内分署建設予定地

ベーターの間の土地を選定した。

18歳以上の 新たな選挙人 まずは本庄 キャンパスから

Q. 選挙権年齢が18歳以上となったが、新たな選挙人に投票してもらうために市ではどのようなことを行うのか。

A. 多くの有権者に投票してもらうために県立大学本庄キャンパス内に期日前投票所を設置するほか、市広報などを通じて投票を働きかけていく。



本庄キャンパス内の期日前投票所

学生だけでなく地域の人も足を運んでいただきました



なお、本庄キャンパスの期日前投票立会人はすべて県立大学生8人（延べ10人）で行うことになっている。

由利高原鉄道の 持続的運行のために

Q. 鳥海山ろく線運営補助金はどのように算定しているのか。

A. 平成28年3月に秋田県由利本庄市、由利高原鉄道で合意した「鳥海山ろく線の持続的運行に係る基本合意書」により、市は前年度の経常損失額を補助し、県は市に対して市補助額の4分の1以内（上限1800万円）を補助することになっている。

教育民生

常任委員会

民俗芸能の保存・ 伝習のための 施設建設が着工

Q. 鳥海地域に建設される「民俗芸能伝習拠点施設」の概要と管理運営は。

A. 工事着工した当施設は古民家の建物をイメージした木造平屋建てで、幅四間の舞台を備えた公演会場では、最大150人が鑑賞できる。

また、民俗芸能に係る貴重な資料を公開する展示室や特産品を販売するコー



民俗芸能伝習拠点施設完成予想図

特別養護老人ホーム 「東光苑」不祥事の 実態調査は

Q. 不適切な事務処理が問題となったが、その後の状況は。

これまで、業務改善協議会や施設内研修会を実施して職員のレベルアップを図っている。

現在、指定管理開始の延期に伴う補償について、指定管理予定者の「由愛会」と協議中である。

ナーも設け、誰でもいつでも芸能に触れることができる、鳥海山麓唯一の発信拠点施設である。



東光苑

本庄清掃センター業務委託の入札情報漏えい問題は

Q. 経過と今後の方針は。

A. 今年度はこれまでどおり焼却業務は「直営」とし、公正取引委員会による職員研修会を実施するなど、法

産業経済

常任委員会

中山間地域等 担い手収益力向上 支援事業の周知は

Q. 補助事業の内容や事前のPR方法は。

A. 国のTPP対策の一環で、新規に野菜栽培などに取り組む場合などに10アールあたり5万円補助される大変有利な補助事業であり土地改良費などに充てることができるが、収入目標を3年後に1.2倍

とすることが条件である。平成27年度分は、国補正があまりに急で、対象となる担い手に個別に連絡し、3月に鳥海メガ栽培産地の1件を申請したが、平成28年度分は、対象となる農家に周知を図っている。

果園芸作物価格 補償の増加は

Q. 「果園芸作物価格補償」

事業負担金が大幅に増額補正されているのはなぜか。

A. 昨年度、リンゴの価格が下がり、これまで加入していなかった農家の申込件数が増加したためである。

サルの捕獲後は

Q. サルが目撃されるようになり捕獲器を設置しているが、もし捕獲された場合の対応は。

A. 県からの許可で、人家から離れた山奥に放たれるが、場所は未定である。

注目の高い 山菜ビジネス 売り込みの方法は

Q. 出荷の取りまとめなどの対応はどのように行っているか。

A. 本市にゆかりのある人や出身者、ふるさと応援大使などからの助言や、売り込み先のスーパーなどは秋田銀行サポートセンターからの紹介もある。

現在は、市が注文を受けたり、売り込んでいるが、西目物産などの協力をいただいている。



首都圏スーパーでの春の天然山菜フェア

今後、「出荷体制支援員」を育成し、出荷体制を充実させたい。

クマの目撃情報もよせられています。気を付けましょう!!



建設 常任委員会

市道災害復旧工事 請負契約を變更

Q. 二級市道吉沢東由利原線道路災害復旧工事請負變更契約の理由と内容は。

A. 災害復旧工事は平成27年度繰越事業として施工中である。当初予定した残土処分地の近郊に東由利原風力発電事業の風車設置が決定したため、処分地を變更するものであり、運搬距離の延長に伴う工事費増額に



工事の進む二級市道吉沢東由利原線を視察する建設常任委員会一行

より、契約金額を1470万3120円増額し、3億5976万3120円で奥山・村岡特定建設工事企業体と變更契約を締結するものである。

道路維持補修を 追加実施

Q. 道路維持事業費が1億円追加補正されたが、その内容は。

A. 各地域で長年、道路補修の要望が特に高かったもののなかなか実施できずにいた箇所を、緊急性を考慮しながら特に追加で取り組むものである。



本荘公園連絡橋を お盆過ぎ撤去

Q. 本荘公園連絡橋（三日月橋）の補正額と解体日程は。

A. 連絡橋撤去事業費3020万円を増額補正する。連絡橋撤去は8月お盆過ぎを予定し、国道107号の全日通行止めを1日間と、交互通行を3〜5日間行い撤去するもの。

迂回路は、市役所前の表尾崎町線とし、解体は、御門交差点脇の鶴舞温泉臨時駐車場で行い、搬出する。



撤去予定の本荘公園連絡橋

工程は約3週間となるが、期間中の交通安全などに十分配慮する。

総合防災公園 整備 特別委員会

建設工事の 進捗状況

Q. アリーナ建設工事の進み具合は。

A. 4月下旬から杭工事を行っており、282力所のうち、現在158力所が終了している。

5月末時点での工事全体の出来高は、約2%となっている。



アリーナ建設工事現場（5月）

アリーナ建設工事の進捗状況や関連情報は、市のホームページと公式フェイスブックに掲載中。

管理運営計画の 検討状況

Q. 管理運営計画検討委員会の経過と内容は。

A. これまで2回検討委員会を開催し、施設の利用方法や、休館日、開館時間、利用料金などの利用規則、

スポーツ・ヘルス コミッションの 検討状況

Q. 設立検討委員会での検討状況は。

A.（仮称）由利本荘市スポーツ・ヘルスコミッション基本方針（案）を検討し

健康の駅 プロジェクトの推進

Q. 健康の駅推進委員会の設置目的と委員構成は。

A. 健康増進拠点としての「健康の駅」構築に当たり、インターバル速歩関係事業を推進するとともに、今後、

事業計画などを検討してきた。

今後、検討委員会を3回ほど開催し、年内には計画の策定を完了する予定である。

している。

今後、委員会で具体的な活動内容などについて検討を重ね、今年11月のコミッション設立を目指す。

健康の駅推進委員会の設置により、各地域とのネットワークの構築と健康増進事業の普及・拡大を図っていく。委員構成は現在検討中であり、健康増進事業を行っている団体や各地域で活動している人も含めて選定したい。

議会目録

主なものをお知らせします



- 【4月】 8日 議会報編集特別委員会
- 13日 議会報編集特別委員会
- 14日 教育民生常任委員会協議会
- 産業経済常任委員会協議会
- 19日 教育民生常任委員会協議会
- 【5月】 12日 会派代表者会議 当局との連絡会議
- 27日 議会運営委員会
- 【6月】 3日 本会議（開会） 会派代表者会議
- 9日 本会議（一般質問）
- 10日 本会議（一般質問） 議会運営委員会 議会全員協議会
- 13日 委員会（議案審査）……… 各常任委員会
- 14日 委員会（議案審査）……… 各常任委員会
- 15日 委員会（議案審査）……… 総合防災公園整備特別委員会
- 22日 本会議（閉会） 議会運営委員会
- 教育民生常任委員会協議会 議員政治倫理審査会
- 28日 議会報編集特別委員会

6月定例会

おもな 議長公務報告（平成28年4月～6月）

- 【4月】 4日 商工会新入社員合同歓迎会
- 23日 花立クリーンハイツリニューアルオープンセレモニー
- 25日 中華人民共和国無錫市訪問団歓迎レセプション
- 【5月】 11日 秋田由利牛振興協議会総会
- 22日 第1回本荘追分ブラジル大会
- 27日 本荘地域町内会長協議会総会
- 【6月】 21日 高速道路ネットワークを利用した地域づくりフォーラムinあきた
- 23日 民俗芸能伝習拠点施設建設工事安全祈願祭及び起工式
- 25日 西目漁港まつり

議長交際費報告（平成28年4月～6月）

◎慶祝、協賛など		◎弔 事	
【4月】 4件	15,938円	5件	140,000円
【5月】 16件	108,488円	議長公務・交際費の詳細につきましては、市ホームページをご覧ください。	
【6月】 13件	59,078円		

市議会からのお願い

市議会では、飲食を伴う会合には案内状に会費を明記していただくように申し合わせております。

皆様のご理解とご協力をお願いします。



どなたでも傍聴
できます。傍聴席へは
5階からどうぞ♪



鳥海山・飛鳥 ジオパーク加盟は

湊 貴信
(会派 高志会)

◆ジオパーク認定の進捗状況

問 公開プレゼンテーションの詳細と感触は。

答 鳥海山と飛鳥の学術的・文化的価値や、認定にかける地域の熱意をPRしてきた。「大変良いプレゼンテーションであった」との評価をいただいた。

問 市民の認知度は。

答 全町内会長を対象としたアンケートで、「ジオパークについて知っている」が35%、「言葉聞いたことがある」40%、「知らない」25%であった。一般市民への認知度はまだ低いと考えている。

◆ふるさと納税の今後の取り組み

問 商店にとって売上げとなり地域経済に直結するため、さらに積極的な取り組みを展開すべきではないか。「物」だけでなく「事」を売り込む戦略も不可欠と思うが。

答 商店や企業と連携するほか、安全・安心な地場産品を新たに模索するなど努めていく。



鳥海ダム建設事業を 市の活性化に!

高橋 和子
(会派 高志会)

◆鳥海ダム対策室を設置すべき

問 現在本体工事に向け用地調査をしているが、今後基本設計告示が出ると用地取得、工事実施となる。ダム湖にかかる橋は、水特法での整備計画、法体の滝をどういかすのか、地場産業の受け入れ体制など課題は多くある。市の構想を国と連携を取り、悔いが無いよう進めるべき。

答 現在、関係部署が鳥海ダム工事事務所と連携を図り、事業の進捗状況に応じ対応しているが、対策室の設置については、ダム先進地の状況を参考にしている。

◆水没地域の歴史や文化を記録保存すべき

問 百宅地区はやがて湖水に沈む。歴史と文化を保存し、後世に伝えるべき。

答 鳥海ダム工事事務所、県教育委員会と協議し、できるかぎり調査をして埋蔵、有形無形文化財を記録保存する。市としては、後世に伝え残す責務があると考えている。

質問項目

1. 市長の政治姿勢について
2. ジオパーク認定について
3. ふるさと納税について
4. 妊産婦の医療費無料化について
5. 株式会社岩城について
6. シルバー人材センターへの業務委託について
7. トップランナー方式への対応について
8. サンスポーツランド岩城野球場の整備計画について

問 企業版ふるさと納税はアイデアがあり、積極的に売り込む自治体にとって有効な施策と言えるがどう取り組むのか。

答 地方創生応援税制にかかわるアンケートを実施し、本荘由利産学振興財団と連携を図り積極的に活用していく。

◆シルバー人材センターを生きがいづくりの場に

問 高齢者がいきいきとするためには、社会参加など生きがいを持つ施策の重要性が必須だが、シルバー人材センターの活用にもそうした生きがいづくりの視点を取り入れるべきではないか。

答 今後もシルバー人材センターと連携し、高齢者の知識、経験、技術を発揮できる機会の拡大を図る。

質問項目

1. 鳥海ダム本体工事に向けた対策について
2. 高齢者世帯へのセーフティネットづくりについて
3. 由利本荘市ソフトボール場について
4. 地元お土産品開発について
5. 本荘ごてんまりの振興について
6. 不祥事再発防止への取り組みについて
7. 東光苑について

◆本荘ごてんまり振興の組織づくりをすべき

問 ごてんまりは市を代表する伝統工芸品であり観光の目玉でもある。振興のための組織をつくり、宣伝や後継者の確保などに取り組むべき。

答 関係者の方々と必要性を含め協議検討する。

◆高齢者世帯へのセーフティネットづくりをすべき

問 単身世帯や高齢者のみの世帯などで、急な入院、入所などの保証、役所への手続きなど大変困っている。新たな保証の仕組づくりを検討する必要があるのでは。

答 相談があれば血縁関係者に協力を求めるなど橋渡しをする。



子どもたちの教育・ 医療の充実を

佐々木 隆一
(会派 日本共産党)

◆全国学力テストの検証、改善は

問 全国学力テストについては、入試への活用、結果公表の是非、全員参加の必要性など多くの議論があった。子どもたちが毎年替わり、問題の難易度も異なる中で、好成績を残しているのは、本市の教育の充実ぶりを示している。

答 点数競争が激化し、過去問を繰り返しやらせるなど対策に力が入り、学校生活に支障が出る例もあるようだ。本来の学力状況調査につながるのか疑問である。全国学力テストの検証・改善についての見解は。

問 調査直後、小中学校の採点委員会を開き、本市の傾向を各校に送付し、指導に生かすとともに、県の分析、国の報告書を受け有効活用していく。

◆生徒たちの進路は

問 全国学力テストでは、本市は好成績を収めて



市民生活に寄り添った 制度の充実を

佐藤 譲司
(会派 市民創風)

◆内部公益通報制度条例制定を

問 度重なる不祥事防止対策として「内部公益通報制度」条例の制定をするべきではないか。

答 本市には、通報処理と通報者保護を目的とした「由利本荘市職員等からの通報処理に関する要綱」がある。要綱の規定により対応できるものと考えており、あわせて本制度の周知を図っていく。

◆「公契約条例」の制定は

問 秋田市は一昨年からは施行、大仙市でも制定する考えを明らかにした。労働者の賃金確保や社会保険の加入など雇用を安定させる「公契約の条例」の制定は。

答 条例や制度作りの研究が必要である。労働者、経営者双方の意見に耳を傾け本市に適した制度の研究をしていく。

質問項目

1. 国保会計について
2. 秋田県後期高齢者医療広域連合議会について
3. 障がい者をめぐる諸問題について
4. 医療費の無料化を高卒まで
5. 教育行政について
6. 「18歳選挙権」の導入にかかわる高校生の政治活動について

きた。ここで育った生徒が高卒後、県外に進学し、就職するケースが多い。生徒たちの現状は。

答 県外への進学、就職が多いのは、県内に希望する学部や就職先がなく、雇用環境など、教育現場だけでは解決できない課題も影響している。「ふるさとに根づく人材の育成」を目指していく。

◆医療費の無料化を高卒まで

問 本市では昨年より中学3年生まで無料化し、保護者から喜ばれている。県内では、小坂町などで無料化している。本市でも高卒まで無料化できないか。

答 高卒まで無料化の場合、4千万円の財源が見込まれる。他市の状況や、市の財政状況などに基づき、判断していきたい。

質問項目

1. 内部公益通報制度条例の制定について
2. 公契約条例の制定について
3. 保育士の待遇改善と保育所民営化について
4. 民俗芸能の保存・伝承と拠点施設の整備運用について

◆保育士の待遇改善と民営化は

問 民営化後の職員の待遇改善はどうか。

答 臨時職員については、正職員として勤務できることを前提に作業を進める。また、待遇は現在の月例賃金と同額以上にすることを条件に協議する。

◆民俗芸能伝習拠点施設の活用計画は

問 「民俗芸能伝習拠点施設」は市内全域の拠点施設である。後継者の育成、消滅した団体の道具などの保存や今後の運用活用は。

答 小中学校の体験学習、矢島高校の「地域学」における番楽の技術取得や公演など各種事業も伝承に成果を上げている。拠点施設では番楽の定期公演のほか神楽や獅子踊りなど多彩な民俗芸能を公開していく。竣工式には、火伏せの儀式舞である「柱がらみ」を奉納し、5月には開館記念特別公演を開催し全国に情報発信する。



産業活性化議員連盟 「視察研修会」

— 7月4日(月)実施して「工業振興」「観光振興」について学んだ —

秋田精工株式会社の会社概要説明



航空機産業に取り組んでいる秋田精工株式会社を訪問して、将来の展望などについてうかがった。

今後ますます需要が高まることが確実であり、その工程のほとんどが手作業のために人員を増やす予定とのこと。地域の雇用の確保に大いに期待できる産業と確信した。

リニューアルした花立クリーンハイツ



鳥海高原花立クリーンハイツは、県の未来づくり協働プログラム補助金を活用、4月にリニューアルオープンした。

食堂や売店の他、資料展示室、休憩所、体験実習室を配した施設で、桑ノ木台湿原へのシャトルバスの発着地点でもあり、鳥海山観光の要として期待する。

「にかほっと」の視察



にかほ市観光拠点センター「にかほっと」を視察。県の未来づくり協働プログラム補助金と国の木材産業振興臨時対策交付金事業補助金、合併特例債を活用し、木材をふんだんに使った施設で地域の観光拠点として賑わっていた。

本市とは鳥海山を核とした広域観光振興プロジェクトを組み連携していることから、お互いの相乗効果を期待したい。

桑ノ木台湿原を散策してみよう

期間中は昨年より663人増え、2,195人の観光客が訪れた、とのこと。

林道終点に「森の休憩所」を建設中で、その対応に備えていた。

山の案内人の荘司氏と工藤氏から説明を受けながら回ったが、木道のコース外へ侵入する人がいて、監視と案内を兼ねた東屋の必要性や、近くに駐車場の設置など多くの課題を学んだ。



9月定例会日程(予定)

- 8月29日(月) 本会議(開会)
- 31日(水) 本会議(一般質問)
- 9月1日(木) 本会議(一般質問)
- 2日(金) 本会議(一般質問)
- 決算審査特別委員会
- 各委員会
- 5日(月)~
- 8日(木) 決算審査特別委員会各分科会
- 13日(火) 決算審査特別委員会
- 20日(火) 本会議(閉会)

8月16日(火)までに受理する請願・陳情を審議する予定です



市議会本会議は一般公開されており、ご来場も自由に傍聴いただけます。一般質問の議員と市当局とのやり取りなど、緊張感ある議場独特の雰囲気を皆さんも一度体験してみませんか? 予約などは必要ありません。本会議の日程に合わせて直接傍聴席(市役所5階)にお越しください。(ケーブルテレビでも生中継します) ※議会の日程は、市広報やホームページ、ケーブルテレビなどでご確認ください。



お悔やみ申し上げます

由利本荘市議会議員の佐藤徹氏は、平成28年6月23日に65歳で亡くなりました。佐藤氏は、平成25年10月市議会議員に初当選した後、教育民生常任委員会委員、議会報編集特別委員会副委員長に就任、平成27年11月からは建設常任委員会副委員長、本荘由利広域市町村圏組合議会議員として2年8ヵ月にわたり市政の発展にご尽力されました。



度重なる不祥事 説明不足
市長は市民目線 当事者意識を

高橋 信雄
(会派 高志会)

◆「トップセールス」の効果と検証は

問 事有るごとに「トップセールス」が市長のうたい文句であるが、その効果を客観的に分析し、検証されているか。

答 就任以来、重要な手段の一つと捉え、企業誘致や観光客誘客を、機会あるごとに行っている。TDK本荘工場の新棟建設は本社訪問のたびにお願いしてきたもので、地元への大きな波及効果があると期待している。海外からの誘客については、韓国、台湾、タイの現地の旅行会社を訪問し2倍以上の観光客増加につながっている。

◆度重なる不祥事、市民目線で十分な説明を

問 ふれあいトークなど市民に説明、報告する機

質問項目
1. トップセールスの効果と検証、PDCAの視点はありますか
2. 度重なる不祥事などの市民への説明と対応、行政監査について
3. 大規模災害被災地への支援のあり方は
4. ウッドスタート宣言について
5. 公共事業について

会が多いが市民からは説明不足との声が多い。特に、市長室のバスルーム問題は誰よりも当事者であるので、ふれあいトークなどでは、まず最初に説明するべきだったとの声が多かった。なぜできなかったのか。市民目線が必要でないか。

答 ふれあいトークでは限られた時間の中で多くの市民の皆さまからの意見や要望、提言などをおうかがいするため、意見交換の場で対応した。一連の市職員の不適切な事務処理については、各地域懇談会などにおいて、お話をさせていただいている。



左から、鈴木議長、井島議員、佐藤議員

永年勤続 議員表彰

5月31日、東京都内の東京国際フォーラムで開催された第92回全国市議会議長会定期総会で、本市の3名の議員が表彰されました。これは永年にわたる市議会議員としての功績が認められたものです。

- 在職25年以上 井島 市太郎 氏
- 在職15年以上 鈴木 和夫 氏
- 佐藤 讓 氏

関係私企業の請負契約などの状況報告

議会議員政治倫理条例に規定されている市と関係私企業との10万円を超える請負契約などについて、市長から5月2日付で報告がありましたので次のとおり公表します。

関係する議員	事業名	請負人の氏名	金額	契約年月日または支払い年月日	契約期間または物品等納入期日
渡部 専一	由利本荘市 要介護・要支援 認定調査業務委託	有限会社 たんぼぼプラザ 取締役 渡部 千鶴子	297,540円	平成27年3月20日	平成27年4月1日~平成28年3月31日
	由利本荘市 介護 予防支援業務委託	有限会社 たんぼぼプラザ 取締役 渡部 千鶴子	371,400円	平成27年3月23日	平成27年4月1日~平成28年3月31日



各会場からいろいろな意見をいただきました。その一部を紹介します。

市への要望

本荘郷土資料館が山の上にあるのは不便だ。町の中にあるべきだ。

公聴会で、駅にエスカレーター、特産品直売所設置を要望したが回答がない。

移住してくる人の働く場の確保が必要だ。

職員のあいさつ励行について市民アンケートなどで検証が必要だ。

真田丸関連の貴重な資料の管理、保存、修復を行ってほしい。

移住対策で市の住宅分譲地の販売促進をすべきでは。

IP告知放送、災害無線などで音声設定が悪く聞こえにくい時がある。

ケーブルテレビ加入者が視聴できるTBS系列のテレビ画像が放映中に途切れることがあるので、改善してほしい。

石脇公園、新山公園への誘導案内看板が少なくわかりづらい。

市の政策では特徴的なことをしてほしい。また、予算などの議会のチェックを。

このような会は以前から開催を望んでいた。年1回ではなく2回くらい開催してほしい。

ほかの地域の議員と話す機会がないので良かった。

議会への要望

- ・参加しやすい開催時期と時間帯の検討。
- ・会場は地域の中心部に設定した方がいい。
- ・参加者の発言の持ち時間（質問時間）の考慮が必要。
- ・議会に関する資料も準備した方がよい。
- ・議員としての見解を求められても制限がある。工夫が必要。

次回開催に向けた改善点



第1回

議会報告会

「市民と語る会」

おもな質問と回答

- Q. 桑ノ木台湿原などの案内をしているが、時期、天候がずれるとお客さんに喜んでもらえない時がある。花がない季節でも大型バスが通れる道路整備と猿倉花立線の復旧が必要だ。
- A. シャトルバスについては経路を変更し、桑ノ木台湿原に行けるようにしている。猿倉花立線の復旧は、今後の調査で検討する。
- Q. 市の焼却灰の運搬道路の拡幅をお願いした。県道なので県に働きかけると言う答弁だったが報告がないが。
- A. 鳥海矢島線の拡幅改良は平成22年から継続して実施しており、県に対して引き続き要望していく。
- Q. 山菜採りは地元の生業で成り立っているのに、外部採取者の規制が必要ではないか。
- A. 資源の枯渇、山の荒廃などの問題があるが、資源調査計画などを行い、規制について可能か調査したい。
- Q. 地域活性化、人口減少に対する議会の意見は。
- A. 議会でも定住、移住対策には危機感を持っている。すぐ結論は出ないが最重要課題だ。活性化策もまるごと営業本部を中心に展開している。
- Q. 鳥海診療所の財政が厳しいが見直しも必要と思うが。
- A. この現状が続けば検討の時期がくる可能性はある。現状では、患者に来てもらう手だてを考えるのは、必要と思う。
- Q. 鳥海地域の民俗芸能伝習拠点施設の運営、ビジョンは。
- A. 本海獅子舞番楽など民俗芸能の伝習拠点となる。平成29年4月オープン予定で、当面の間は市で運営し、地域活性化につながると期待している。
- Q. 保育園民営化の方向性について。
- A. 民営化で柔軟性のある経営ができるというメリットがある。臨時職員の安定した身分保障、正職員化が図られるようにする計画だ。
- Q. 幼稚園、保育園は民営化せずに市で責任をもって運営すべきだ。
- A. 市営8保育園の民営化を進めているが、そのような意見があることを当局に伝える。
- Q. 市の財政は7年連続で単年度黒字だが、なぜ借金しているのか。
- A. 単年度では黒字だが、以前実施した事業の起債が残っている。有利な起債を活用して計画的に返済している。

市議会では、市民に開かれた議会を目的として、5月9日から28日までの期間に市内10会場で開催された議会報告会「市民と語る会」を開催しました。議員が、各地域に出向き、議会活動の状況や市政の現状を報告するとともに、市政や議会に対する意見、要望を市民から聴くもので、合計で315人の参加がありました。

開催状況			
開催日	曜日	会場名	参加者数 (人)
5月9日	月	大内：大内農村環境改善センター	32
5月10日	火	鳥海：紫水館	32
5月14日	土	岩城：岩城会館	30
5月24日	火	本荘：アクアパル	19
		本荘：市民交流学習センター	23
5月26日	木	東由利：有鄰館	26
		由利：善隣館	84
5月28日	土	矢島：日新館	35
		本荘：職業訓練センター	18
		西目：シーガル	16

